

# SOBA school 利用マニュアル

## 【先生用】

株式会社 SOBA エデュケーション

第 1.2 版

2012/4/2

## 目 次

1. はじめに .....	3
2. SOBA schoolのアプリケーションをインストールする.....	3
3. カメラを接続する .....	6
4. スキャナなどをUSBハブで接続する .....	7
5. マイク・ヘッドフォンを接続する .....	8
6. SOBA schoolにログインする .....	9
7. 授業を開始する .....	11
8. 授業レポートを作成する .....	13
9. 作成した授業レポートを見る .....	16
10. 月次レポートを作成する .....	17
11. 作成した月次レポートを見る .....	20
12. SOBA schoolの使い方.....	22
13. 自己学習への切り替え .....	24
14. 個別指導への切り替え .....	25
15. 全体講義への切り替え .....	25
16. チャットを利用してメッセージを送信する .....	26
17. 共有するホワイトボードを切り替える .....	26
18. ファイル転送を利用して生徒にファイルを送信する .....	27
19. 生徒の意思表示の集計結果をリセットする .....	28
20. フォルダから資料を取り込む .....	29
21. ページ配信機能を使う .....	30
22. ホワイトボード上にマウスの位置を表示させる（ポインタ機能） .....	30
23. 答案を印刷する .....	31
24. よくあるご質問.....	32
① エラーが表示されないがログインができない .....	32
② 表示が乱れる。クリックしても反応がない。 .....	33
③ オーディオとビデオの設定中にエラーが表示される。 .....	35
マイクに「動作確認中にエラーが発生しました。[リスト更新] をクリックして再度お試しください。」と表示される。 .....	35
オーディオとビデオの設定で「カメラが接続されていないか、他のプログラムで使われている為、再生できませんでした。カメラがPCに接続されている場合は [リスト更新] をクリックしてください。」と表示されてカメラ映像が映りません。 .....	37
④ 生徒のカメラとマイクがエラー状態になっている。 .....	38
25. SOBA schoolシステム要件.....	39

## 1. はじめに

SOBA school では、管理者／先生／生徒／監視者、4種類のアカウントがあります。アカウントの種類によって、操作権限や画面構成等が異なります。本マニュアルは【先生用】のマニュアルになります。

## 2. SOBA schoolのアプリケーションをインストールする

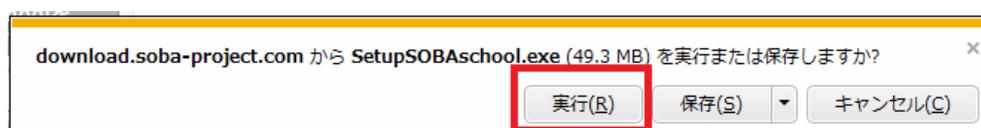
SOBA schoolのトップページ <http://school.soba-education.com/> にアクセスします。



ログインページにある「アプリケーション」をクリックします。

SOBA school のアプリケーションをインストールするには、パソコンの管理者権限のあるユーザでログインする必要があります。

次のような画面が表示されてインストールができない場合は、管理者権限のあるユーザでログインしなおしてください。

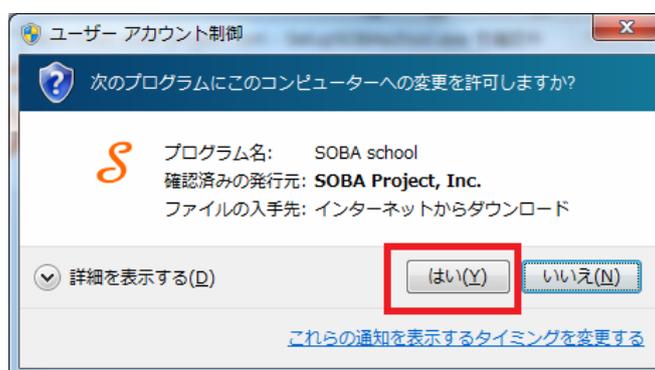


「実行 (R)」ボタンをクリックします。

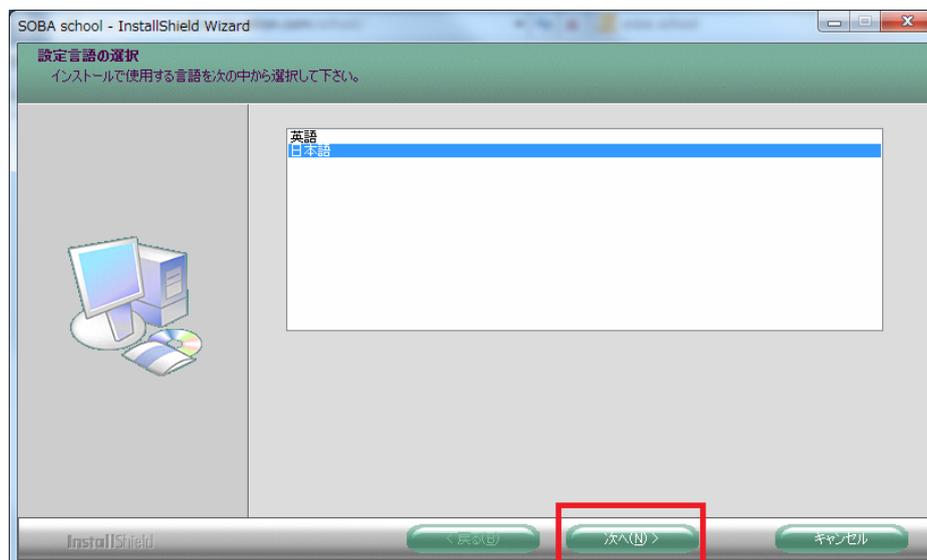
インターネットエクスプローラーの種類によっては次のような画面が出る場合があります。



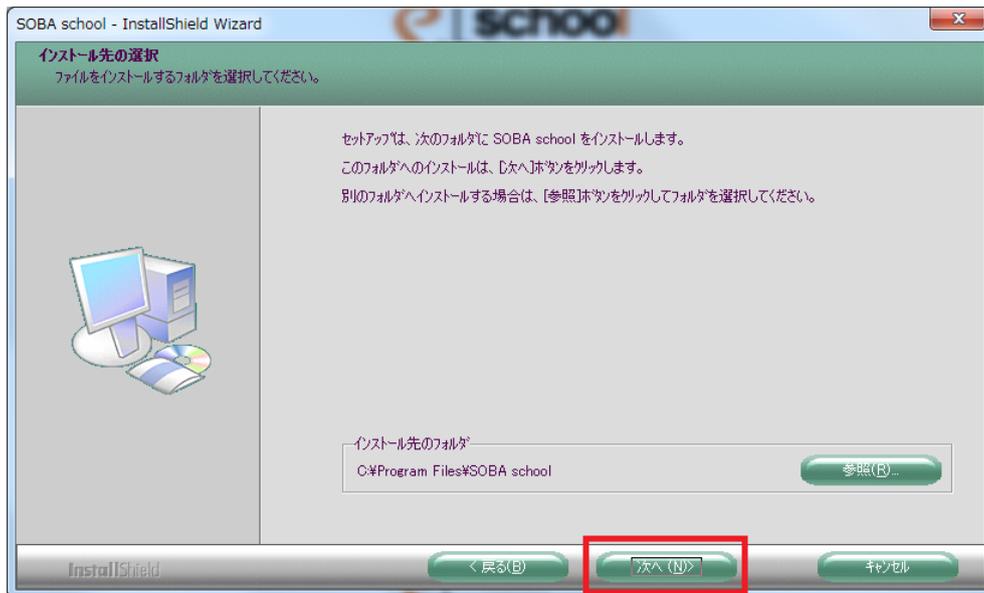
この場合も同じく「実行 (R)」ボタンをクリックします。



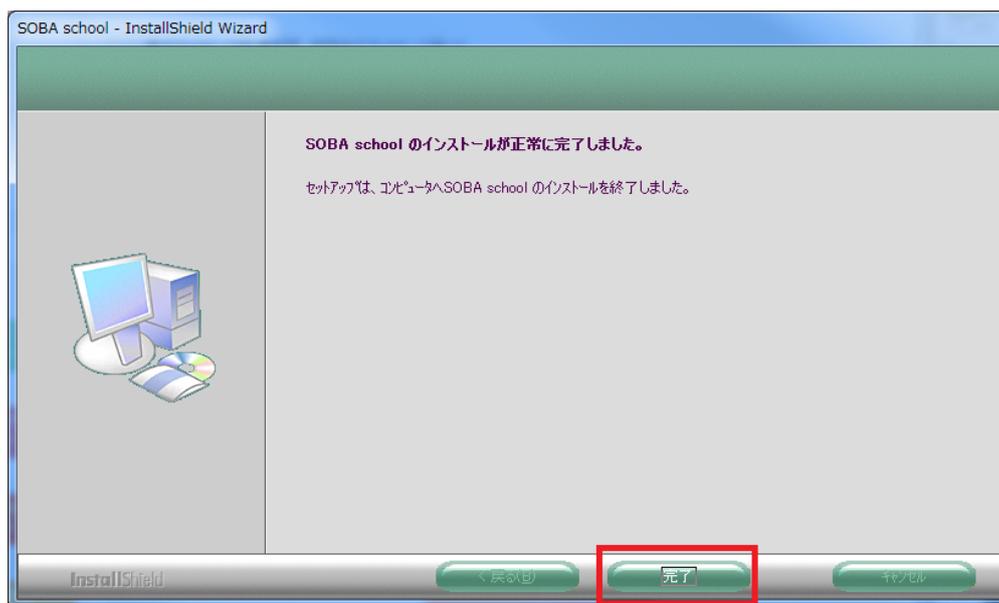
しばらくすると、画面が反転して上の画面が表示される場合があります。その場合は「はい (Y)」をクリックします。



インストールで使用する言語を選択する画面が表示されます。何も変更せずに「次へ (N)」をクリックしてください。



インストール先のフォルダを変更できます。特に指定するフォルダがない場合や、よく分からない場合は、「次へ (N)」をクリックしてください。



しばらくすると、完了画面が表示されます。「完了」ボタンを押して画面を閉じます。



インストールが完了すると、パソコンのデスクトップにSOBA schoolのアイコンが作られます。次回からこのアイコンをクリックすれば、SOBA schoolのホームページが表示されます。

### 3. カメラを接続する



最近では写真のように、パソコンのモニター面に、初めからカメラが付いている場合があります。この場合はカメラを接続する必要はありません。

カメラが付いている場合は、[4.スキャナなどをUSBハブで接続する \(P.7\)](#)に進んでください。

パソコンにカメラが付いていない場合は、次に進んでください。



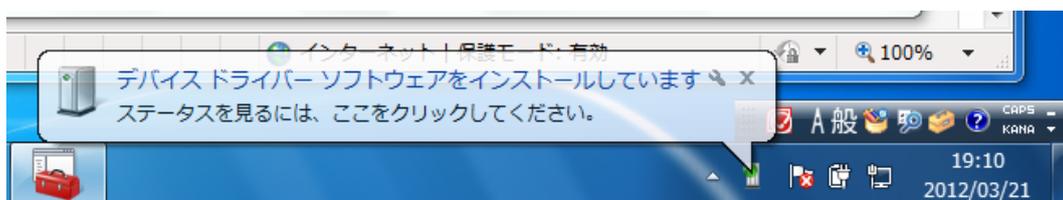
カメラに付いているケーブルのほとんどは USB (ユーエスビー) です。

USB ケーブルは先が左の写真のような形になっています。これをパソコン本体の USB の入力に差し込みます。



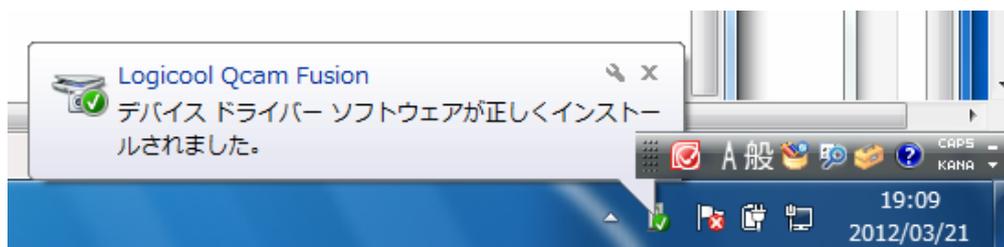
パソコンの USB 端子の入力は赤で丸く囲った部分のような形です。

間違えないようにしっかりと奥まで差し込んでください。カメラは必ずパソコン本体に直接差し込んでください。



カメラをパソコンに接続すると、パソコン画面の右下に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」というメッセージが表示されます。

※カメラによっては付属の CD や DVD からソフトインストールが必要な場合もあります。その場合はカメラの説明書を参考にしてください。



「デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました。」と完了のメッセージが表示されたら終了です。

※カメラの製品名はお使いの製品名が表示されるので、上の図とは異なります。

※失敗のメッセージが表示された場合はカメラに同封の説明書を参考にして CD からドライバと呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

#### 4. スキャナなどをUSBハブで接続する

SOBA school ではスキャナまたはプリンタ（手元にある問題や答案を取り込むために使用）やペンタブレット（手書きの文字を入力するために使用）など様々な周辺機器を取り付けて使用します。パソコン本体の USB の入力の数（通常 3～4 個）では足りない場合があります。そのときに使用するのが、USB ハブと呼ばれるものです。



スキャナ



ペンタブレット



←USB ハブは、左の画像のように、必ず AC アダプタと呼ばれるコンセントから電源供給を受けるタイプを使用してください。

USB ハブは AC アダプタをコンセントに差した後に、USB ケーブルの先をパソコン本体の USB の入力に差し込みます。

パソコンと AC アダプタをコンセントに差した後、スキャナやペンタブレットなどを USB ハブに接続して利用します。

スキャナまたはプリンタを使用するには、最初に付属の CD からドライバと呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

ドライバのインストール方法や接続方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。

## 5. マイク・ヘッドフォンを接続する



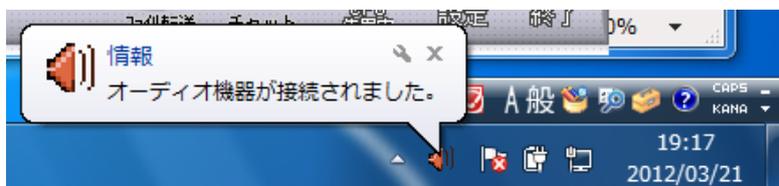
マイクやヘッドフォンは USB タイプと写真のようなミニプラグタイプのものがありますが、ここではミニプラグの説明をします。

※USBタイプは [4.スキャナなどをUSBハブで接続する\(P.7\)](#) を参考にしてください。



パソコンのマイクとヘッドフォンの差込口は、このような形状になっています。パソコン側にも、ヘッドフォンとマイクのマークが付いていますので、間違えないように差し込んでください。

※最近のパソコンはマイクとヘッドフォンをパソコンに差し込まないと認識しないタイプのもが増えていますので、SOBA school ではパソコンが起動する前にヘッドフォンとマイクをパソコンに差すことをおすすめしています。



パソコンが起動した後にマイクやヘッドフォンをパソコンに差し込むと、画面の右下にメッセージが表示される場合があります。

## 6. SOBA schoolにログインする

デスクトップ上に表示されている SOBA school のアイコンをクリックします。  
もしくはブラウザで <http://school.soba-education.com> にアクセスします。



SOBA school のホームページが表示されます



初回のみグループ名を入力します。

グループ名はご契約先の学校または塾から案内されたユーザ ID の@以下になります。

たとえば tarou@soba-school の場合、グループ名は soba-school になります。

@マークが付いていない場合はそのままグループ名を入力してください。

※この画面は初回のみで二回目以降は表示されなくなります。



次にユーザ ID とパスワードの入力画面が表示されます。

ユーザ ID とは、学校または塾から案内されたユーザ ID の@より前になります。

たとえば tarou@soba-school の場合、ユーザ ID は tarou になります。

@マークが付いていない場合はそのままユーザ ID を入力してください。



ログイン後はホーム画面が表示されます。

## 7. 授業を開始する

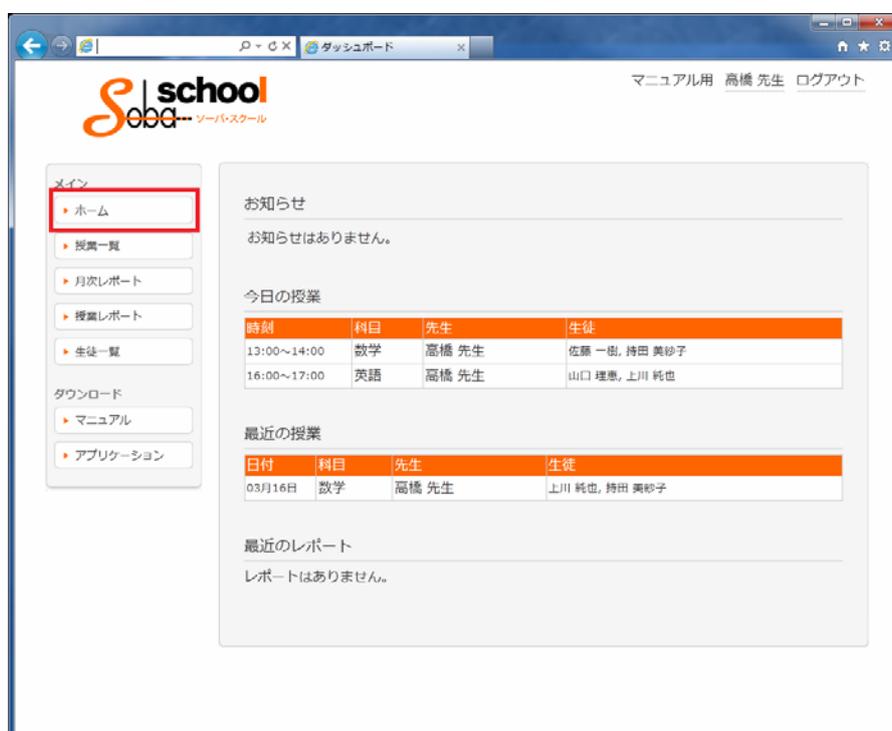
先生は、授業を開始することができます。授業を開始するには、以下の手順で行います。

なお、先生が授業を開始するまで生徒は授業に参加できませんので、余裕をもって5～10分前にはログインして授業を開始されることをお勧めします。

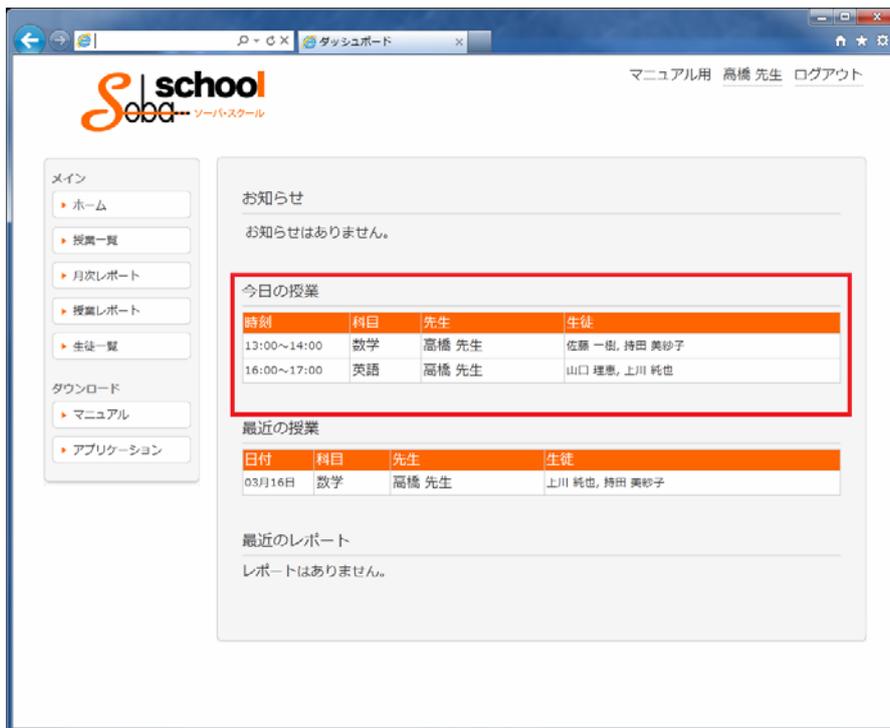
※ソフトをインストールしていない場合は2. [SOBA schoolのアプリケーションをインストール\(P.3\)](#)をご覧ください。

SOBA school にログインします。

ログインしていない場合は6. [SOBA schoolにログインする\(P.9\)](#)をご覧ください。



ホーム画面が表示されます。ホーム画面が表示されていない場合、左のメインメニューから「ホーム」をクリックしてください。



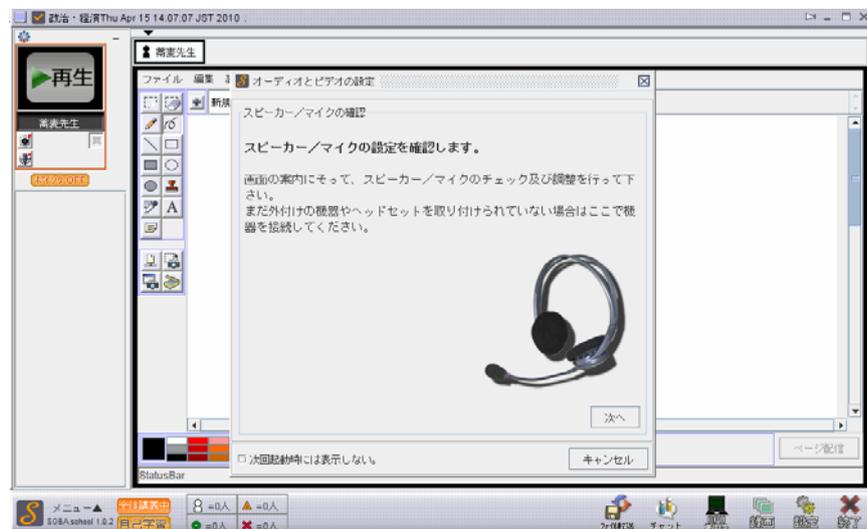
今日の授業と書かれている項目をみて、これから開始する授業をクリックします。  
 ※今日の授業がない場合は 今日授業がありません と表示されます。



授業の詳細な内容が表示されますので「開始する」ボタンをクリックします。  
 しばらくすると、SOBA school の専用アプリケーションが起動します。



このような画面（スプラッシュと言います）が表示された後しばらくすると授業が始まります。



ソフトが起動し上図のような画面が表示されれば、授業の開始に成功です。

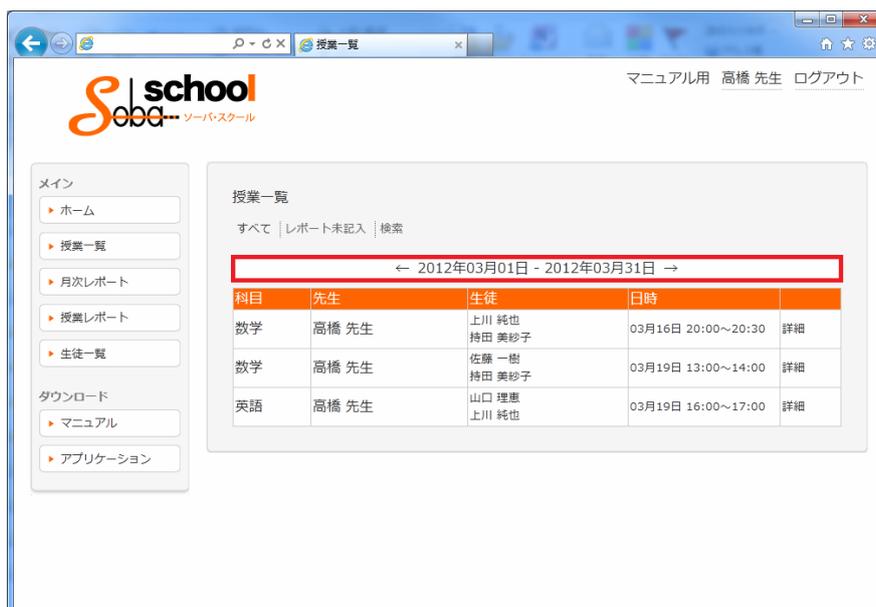
## 8. 授業レポートを作成する

SOBA school にログインします。

ログインしていない場合は6. [SOBA schoolにログインする\(P. 9\)](#)をご覧ください。



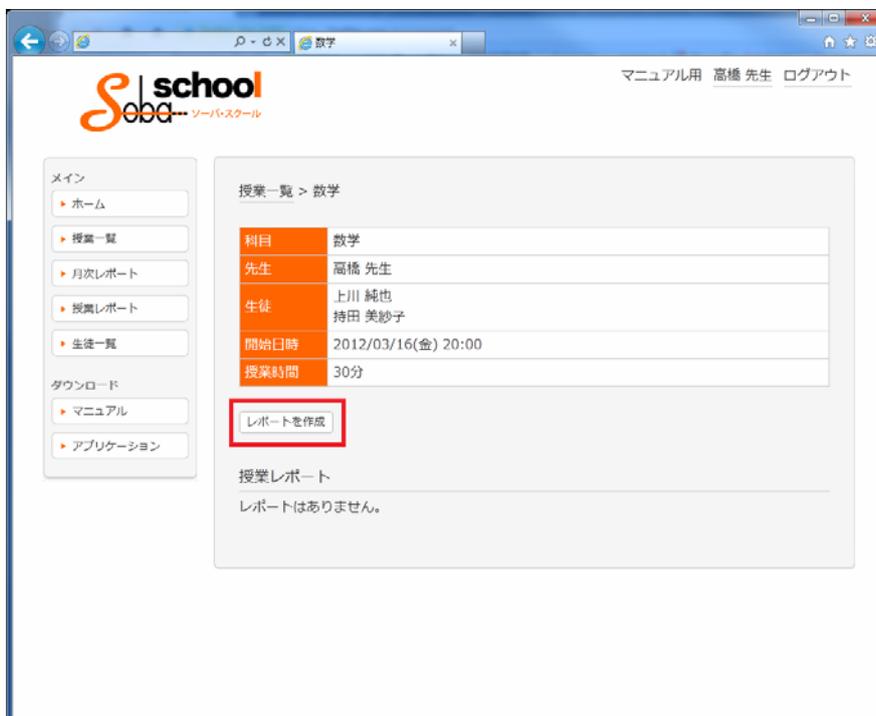
左のメインメニューから「授業一覧」を選択します。



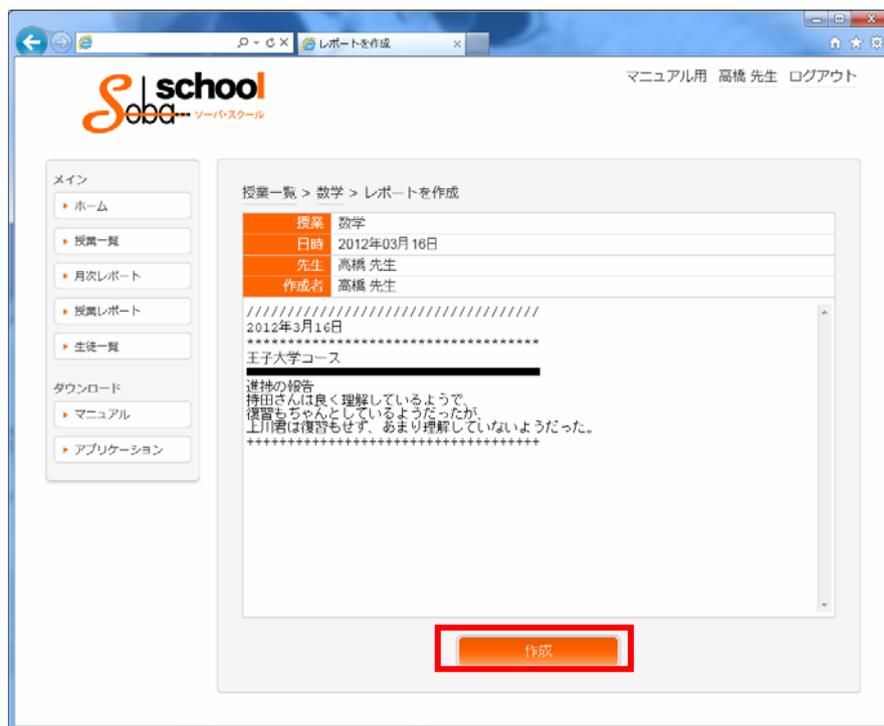
授業一覧が表示されます。ここで、まだレポートを記入していない授業の科目名もしくは詳細をクリックします。授業一覧画面左上で、表示内容を次のように選択できます。

- すべて：期間内のすべてのレポートを表示します。
- レポート未記入：レポートを未記入の授業だけが表示されます。
- 検索：授業検索画面に遷移します。

※赤い枠で囲まれた場所の矢印をクリックすると、表示する授業の期間の変更ができます。



「レポートを作成」ボタンをクリックします。



レポートを入力して、「作成」ボタンをクリックします。



レポートの作成に成功すると、レポートの内容が表示された画面になります。

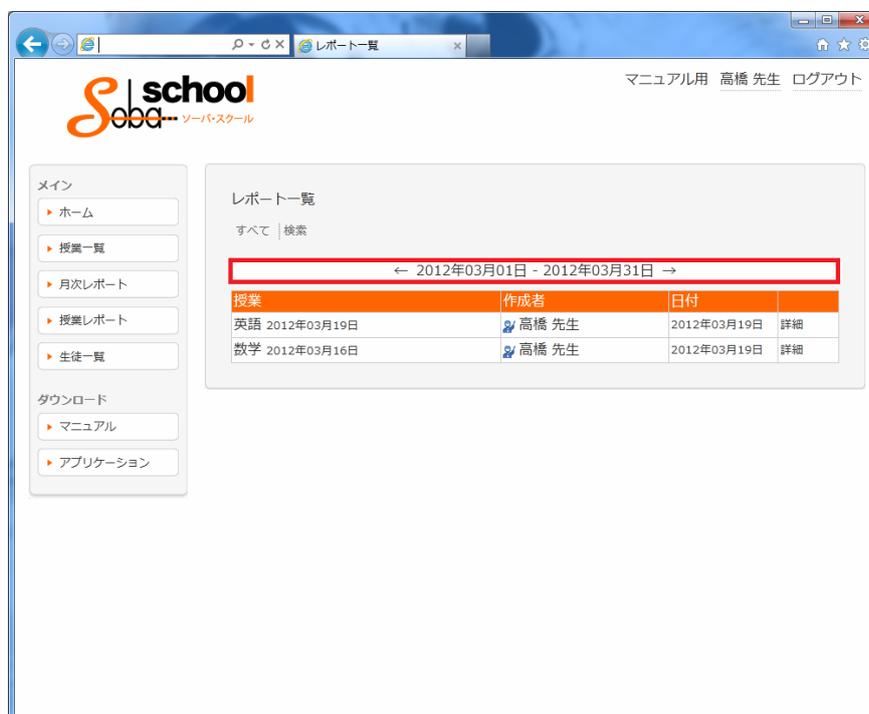
## 9. 作成した授業レポートを見る

SOBA school にログインします。

ログインしていない場合は6. [SOBA schoolにログインする\(P.9\)](#)をご覧ください。



左のメインメニューから「授業レポート」を選択します。



レポート一覧のページが表示されます。

授業が一覧で表示されていますので、レポートを表示したい授業をクリックします。

- すべて：期間内のすべてのレポートを表示します。
- 検索：授業検索画面に遷移します。

※赤い枠で囲まれた場所の矢印をクリックすると、表示する授業の期間の変更ができます。



レポートの内容が表示されます。

- 「編集」：レポートの再編集ができます。

## 10. 月次レポートを作成する

SOBA school にログインします。

ログインしていない場合は6 [SOBA schoolにログインする\(P.9\)](#)をご覧ください。



左のメインメニューから「月次レポート」を選択します。



月次レポート一覧のページが表示されます。

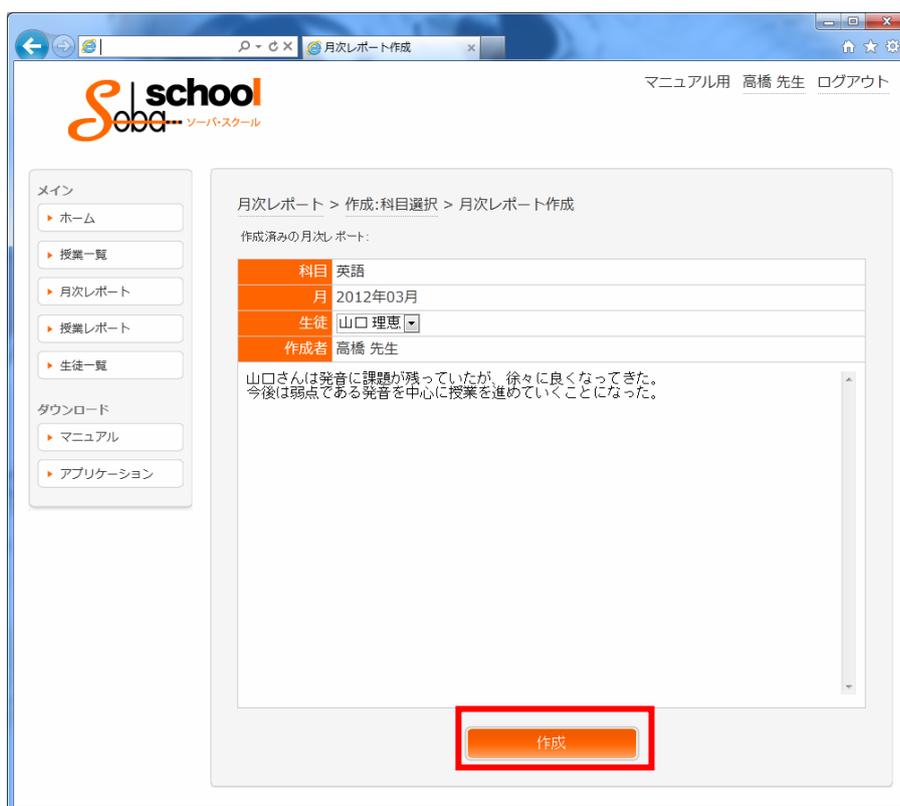
※月次レポート未作成の場合は 月次レポートがありません と表示されます。



「月次レポート作成」ボタンをクリックします。



科目選択画面が表示されますので、レポートを作成する月から科目を選択してクリックします。



レポート作成画面が表示されますので、生徒を選択してレポート内容を入力して「作成」ボタンをクリックします。



レポートの作成に成功すると、月次レポートの内容が表示された画面になります。  
関連する授業レポートも表示されます。

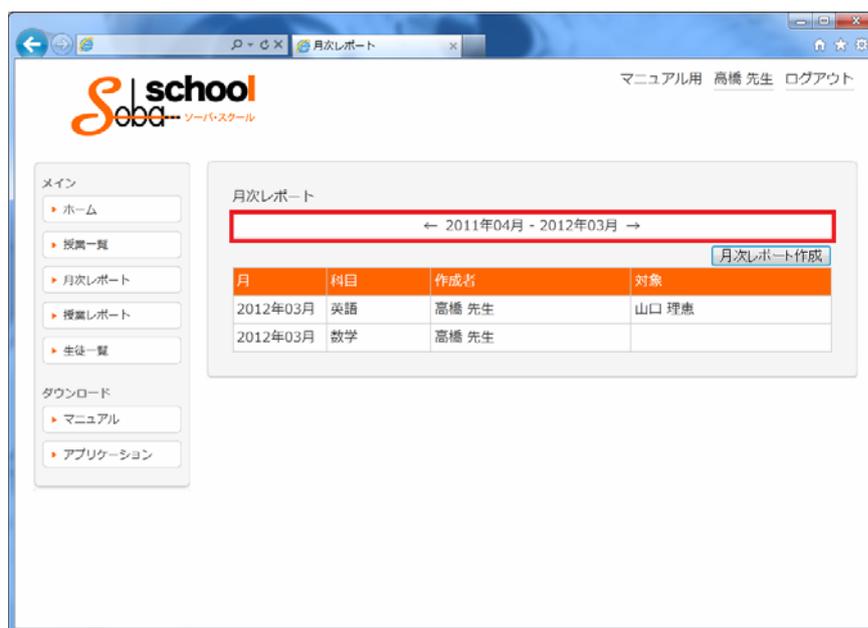
## 11. 作成した月次レポートを見る

SOBA school にログインします。

ログインしていない場合は[6 SOBA schoolにログインする\(P.9\)](#)をご覧ください。



左のメインメニューから「月次レポート」を選択します。



月次レポート一覧のページが表示されます。

レポートを記入済みの科目一覧が表示されていますので、レポートを表示したい科目をクリックします。

※赤い枠で囲まれた場所の矢印をクリックすると、表示するレポートの期間の変更ができます。

※月次レポート未作成の場合は 月次レポートがありません と表示されます。



月次レポートの内容が表示されます。

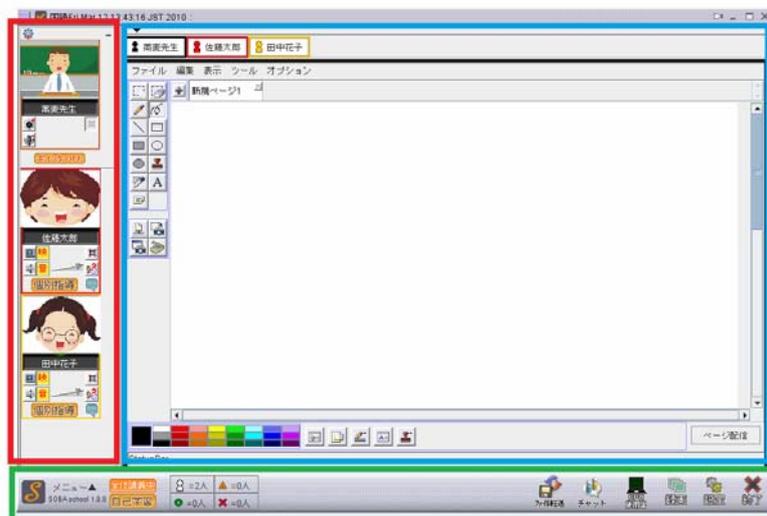
- 「編集」：月次レポートの再編集ができます。
- 「削除」：月次レポートが削除できます。

## 12. SOBA schoolの使い方

授業を開始すると、SOBA school クライアントソフトウェアが起動します。

※アカウントの種類(先生、生徒)によって、SOBA school クライアントの画面構成は変わります。

本マニュアルでは先生のみ紹介します。



赤枠部分には、授業に参加している先生と各生徒のカメラが表示されます。生徒が参加すると、映像・音声どちらも自動的に配信されるようになっています。(生徒側で操作はできません。)



- ① 先生のカメラとマイクを再生させるボタン
  - ② ホワイトボード上に先生のマウスの位置を表示させるポインタのオン・オフを切り替えるボタン
  - ③ 生徒のカメラとマイクの停止、再開、音量調整を行うボタン類
- ※各ボタンの機能は以下のとおりです。



相手の映像を再生・停止するボタン



相手の音声を再生・停止するボタン



映像をフローティング表示するボタン

(通常サイズの3倍に拡大。英会話のレッスンや面接の指導等相手の表情をよく見たいときに利用します。)



選択した相手の音声のみを有効にするボタン



相手の映像を強制的に再起動させるボタン

(映像が停止したり不具合が起きた場合に利用します。)



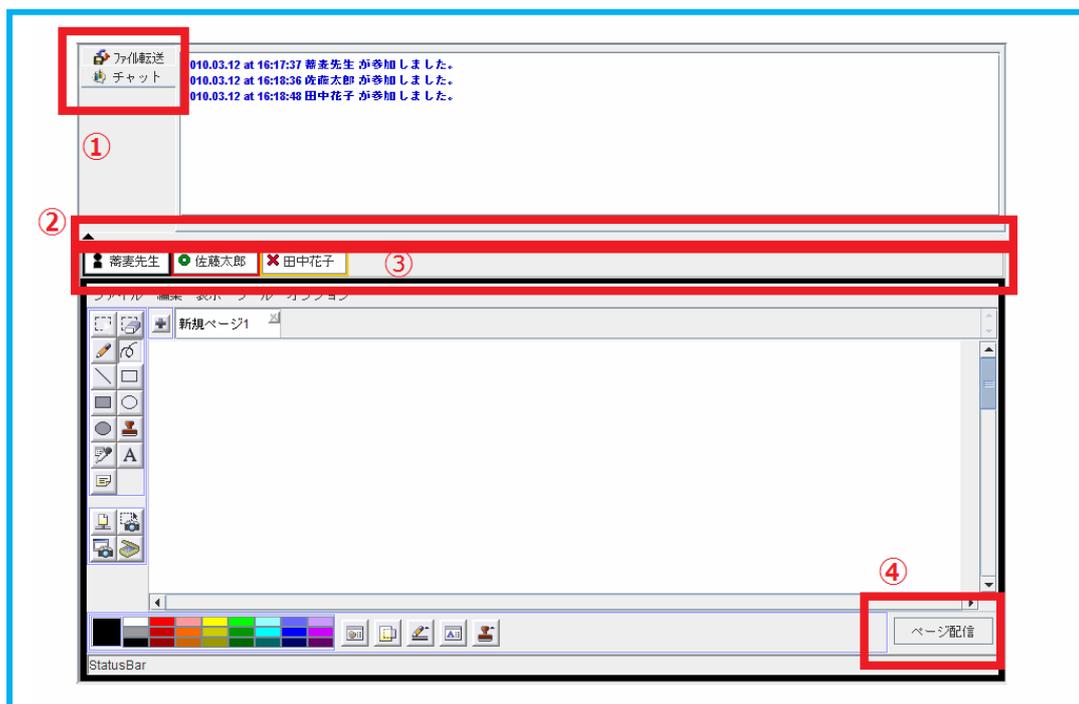
相手の音声を強制的に再起動させるボタン

(音声停止したり不具合が起きた場合に利用します。)

- ④ 個別指導を行うボタン

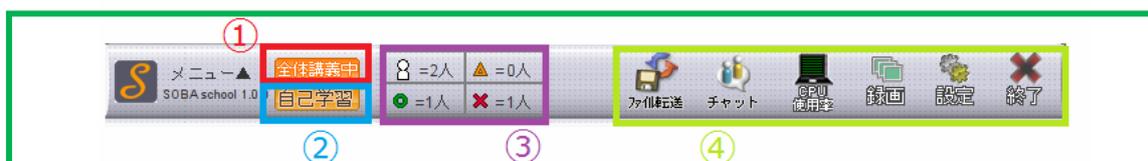
- ⑤ 生徒にチャットでメッセージを送るボタン

青枠部分には、ホワイトボードやチャット、ファイル転送などアプリケーションが表示されます。



- ① ファイル転送・チャットの表示を切り替えるタブ
- ② ファイル転送・チャットの表示のオン・オフを切り替えるボタン（スライダー）
- ③ 共有する生徒のホワイトボードを指定して切り替えるボタン（アイコンはそれぞれ生徒の意思表示 <○・△・×・未確定> を表示します。）
- ④ ページ配信ボタン（スキャナやフォルダから取り込んだ資料や問題など先生が現在表示しているホワイトボードのページ全て、各生徒にコピーして配信することができます。）

緑枠部分は、全体講義中か自己学習中か授業のステータス、生徒の意思表示を集計するボタンまた録画ツールなど各種ツールボタンが表示されるコントロールバーになります。



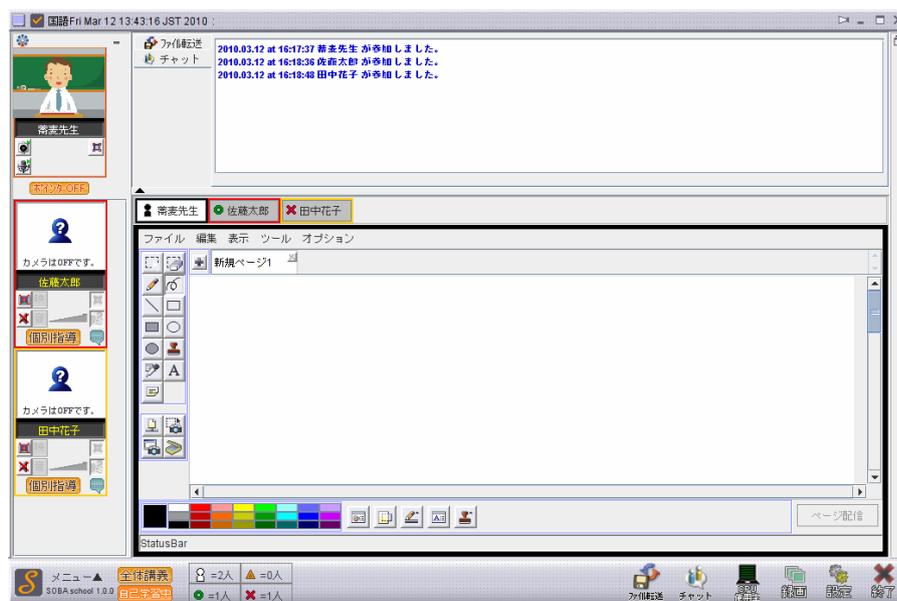
- ① 全体講義中の場合は「全体講義中」と表示されます。個別指導時や自己学習時にクリックすることで、全体講義に戻るボタンになります。
- ② 自己学習中の場合は「自己学習中」と表示されます。個別指導時や全体講義時にクリックすることで、自己学習に戻るボタンになります。
- ③ 生徒の意思表示（○・△・×）の集計結果を表示します。人型のアイコンをクリックすると、集計結果はリセットされます。
- ④ 各種ツールボタンで、左から、ファイル転送を表示するボタン、チャットを表示するボタン、CPU 使用率とシステム情報を表示するボタン、録画ツールを起動するボタン、設定ツールを起動するボタン、クライアントアプリケーションを終了するボタンです。

### 13. 自己学習への切り替え

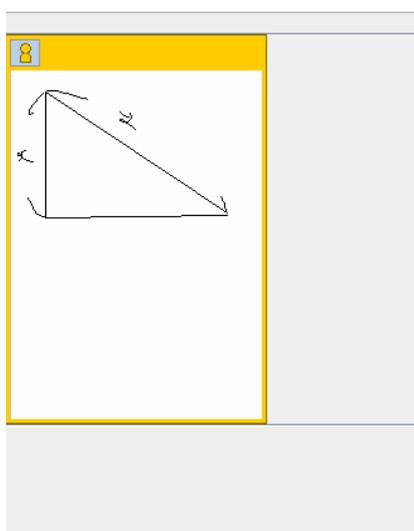
個別指導や全体講義から自己学習に切り替える場合、コントロールバーの「自己学習」ボタンをクリックします。



自己学習モードは、配布した資料などを生徒が一人で問題を解く場合などに利用します。自己学習モードに切り替わると、先生の画面上では全ての生徒のカメラとマイクが停止状態になります。生徒の画面上では先生・全ての生徒のカメラと音声は停止した状態で、各生徒のホワイトボードが表示された状態になります。



カメラの下の生徒の名前が黄色で表示されていたり、ホワイトボード切り替えのボタンが灰色で表示されているのは、“講義対象外の生徒” という意味です。



<プレビュー表示時>

自己学習時、先生の映像と音声は生徒等には配信されませんが、先生側では各生徒の映像と音声を再生して生徒の様子を確認することができます。(生徒の画面上では再生されないため、生徒には気づかれません。)

また、自己学習時は、自己学習中の各生徒に対しチャットでメッセージを送ったり、ファイル送信を行うことができます。

自己学習中の生徒のホワイトボード表示のボタンをクリックするとプレビューで表示されます。生徒の画面には、各自のホワイトボードが表示された状態になります。

## 14. 個別指導への切り替え

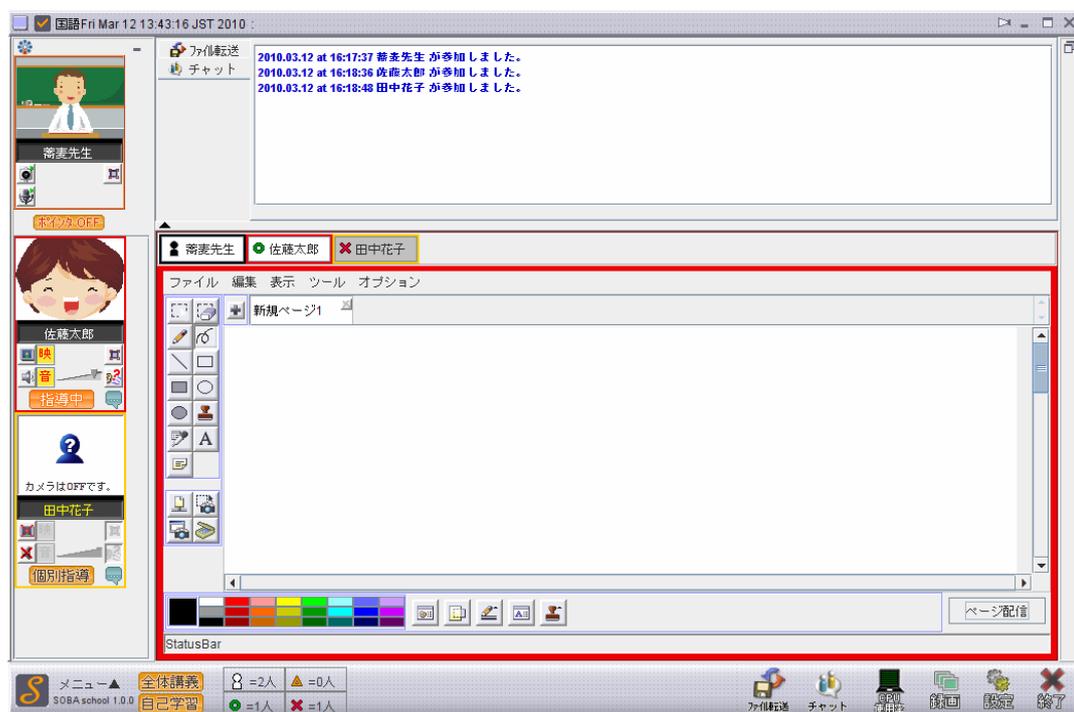


個別指導は、各生徒の映像のパネルの下に表示されている「個別指導」ボタンをクリックすることによって開始できます。

個別指導は、ひとりの生徒だけを指導したい場合などに利用します。

個別指導モードになると、指導対象以外の生徒のカメラは停止状態（自己学習モード）になり、先生の映像と音声は指導対象の生徒のみに配信されるようになります。また、ホワイトボードは自動的に指導対象の生徒のホワイトボードが共有されます。

指導対象以外の生徒は自己学習モードになりますので、指導対象生徒と先生との間の会話やホワイトボードの内容は他の生徒には表示されません。



## 15. 全体講義への切り替え

個別指導や自己学習から全体講義に切り替えるのは、コントロールバーの「全体講義」ボタンをクリックします。



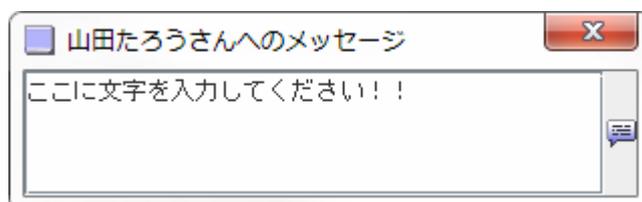
全体講義になると、先生の映像と音声は全ての生徒に配信されます。

また、ホワイトボードのプレビュー領域は非表示になります。

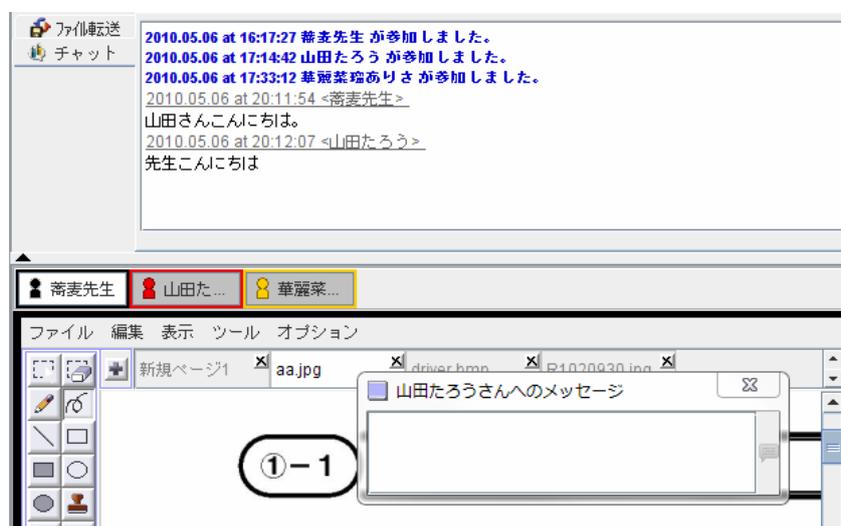
## 16. チャットを利用してメッセージを送信する

先生は生徒に文字でメッセージを送信することができます。

緑の枠に囲まれている水色の吹き出し（チャットボタン）をクリックします。



上図のように、送信するユーザの名前が表示されたダイアログが表示されます。ここにメッセージを入力して、右脇の「発言」ボタンもしくは「Enter」キーをクリックすると、指定したユーザのみにメッセージを送れます。



チャットのやり取りは、ホワイトボードの上にも、チャット画面が表示されます。

※自己学習モード時や個別指導対象外の生徒にもメッセージを送ることができます。

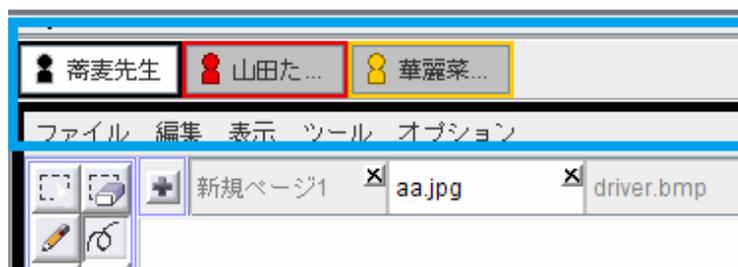
## 17. 共有するホワイトボードを切り替える

全体講義時や個別指導時は共有するホワイトボードを切り替えることができます。



ホワイトボードの上部に表示されている授業に参加しているユーザのボタンをクリックすると、そのユーザのホワイトボードが指導対象内の生徒に共有されます。

※共有が完了するまで若干時間がかかる場合があります。



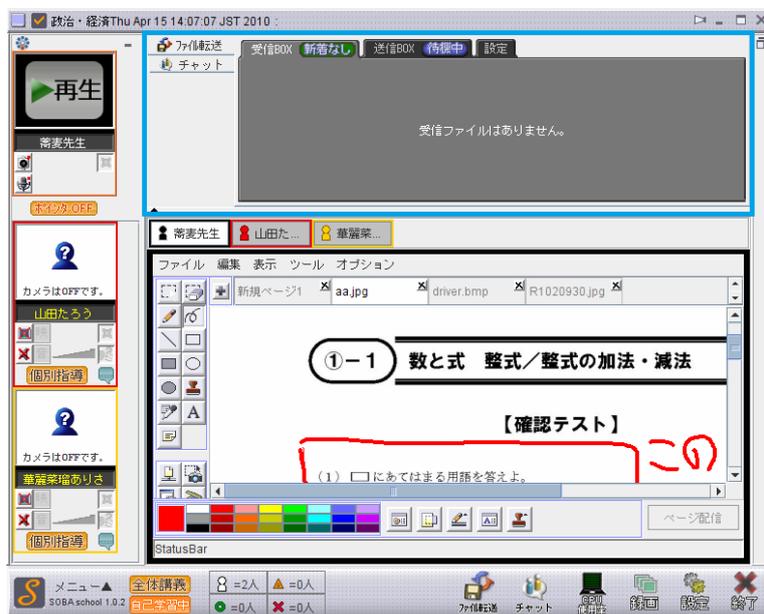
なお、自己学習や個別指導を行っている場合、指導対象外の生徒のホワイトボードの切り替えボタンは上図のように灰色になっています。この状態のときボタンをクリックすると、その生徒のホワイトボードがプレビュー表示されます。

## 18. ファイル転送を利用して生徒にファイルを送信する

問題プリントや資料などのファイルを授業に参加している生徒に配布することができます。



右下の「ファイル転送」ボタンをクリックすると、下図のようにホワイトボードの上にファイル転送を行う画面が表示されます。



ファイル転送の送信 BOX をクリックします。



送信したいファイルをドラッグ&ドロップ、つまりフォルダやディレクトリの中などから送信したいファイルをマウスで選択して、マウスを押したままの状態です送信BOXまで移動（ドラッグ）させ、そこでマウスのボタンを離す（ドロップ）ことで、送信BOXにファイルを取り込むことができます。



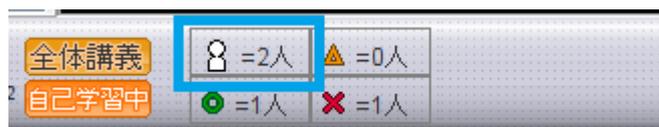
送信するファイルは、「将来にわたる全参加者」「現在の全参加者」「特定の生徒」のいずれかを指定できます。送信先を指定し「送信」ボタンをクリックするとファイルが送信されます。

- ・「将来にわたる全参加者」は後から授業に参加した生徒にも自動的にファイルを送信します。
- ・「現在の全参加者」は現在授業に参加している生徒のみにファイルを送信します。後から参加した生徒には送信されません。
- ・「特定の生徒」は現在授業に参加している特定の生徒にのみファイルを送信します。後から参加した生徒はもちろん現在授業に参加している別の生徒にもファイルは送信されません。

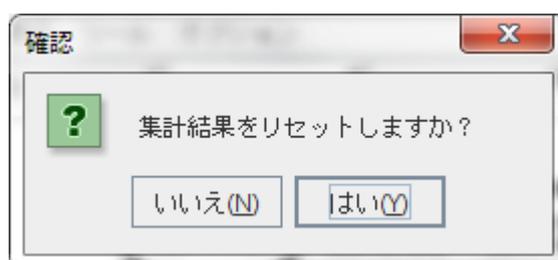
## 19. 生徒の意思表示の集計結果をリセットする

先生のコントロールバーには生徒の意思表示（○・△・×）の集計結果が表示されます。

※生徒側には、この場所に「○・△・×」のアイコンが表示されていますので、生徒にボタンをクリックしてもらうことにより、先生側では生徒の理解度を確認できます。



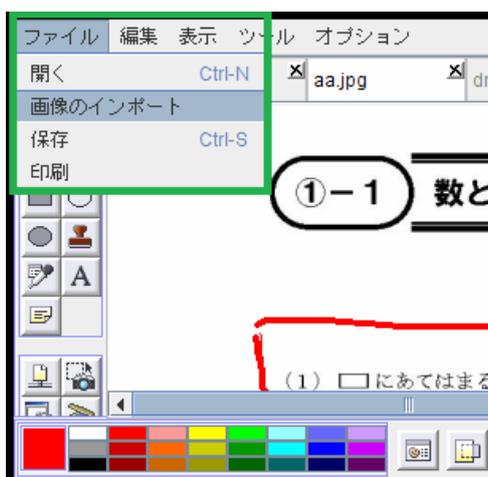
人型のアイコンをクリックすると、次の図のような集計結果をリセットしてよいかの確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると集計結果がリセットされます。



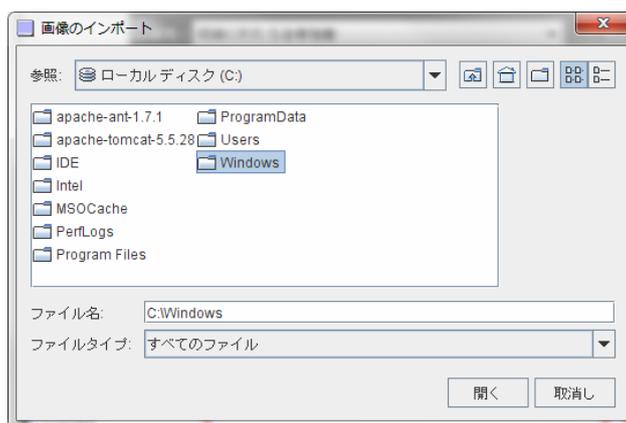
## 20. フォルダから資料を取り込む

ホワイトボードに、フォルダ内の画像を一斉に取り込む（インポート）ことができます。取り込んだ画像は、新しいタブになって背景画として取り込まれますので、消しゴムツールで消すことはできません。例えば、問題文に回答や解説文を書き込んで訂正する際に消しゴムで消しても、問題文と一緒に消えてしまうことはありません。

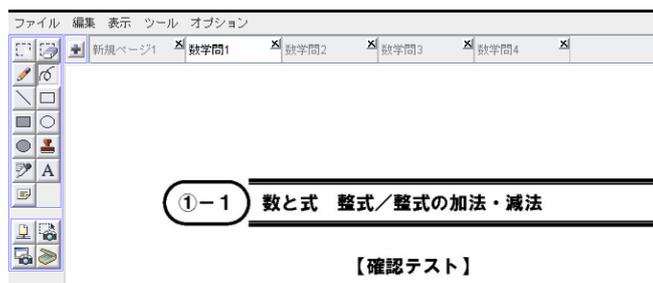
ファイルを取り込むには、ファイルメニューから「画像のインポート」を選択します。



画像のインポートのダイアログの中からインポート対象のフォルダを選択して、[開く] をクリックします。授業で使用する問題プリントを、あらかじめスキャンして画像ファイルにしてひとつのフォルダにまとめて用意しておくこと、スムーズに授業が進行できます。



フォルダを指定すると、選択されたフォルダ内の画像ファイルを全て取り込みます。なお、大きいサイズの画像は自動的に適切なサイズに縮小されます



※大量の画像ファイルを取り込むと取り込み作業に多大な時間を要しますので、画像ファイルは10枚程度までに納めてください。

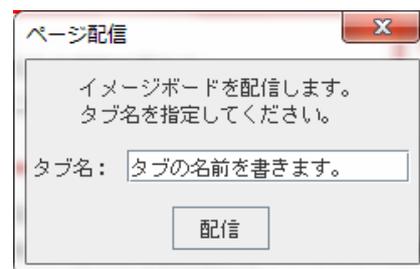
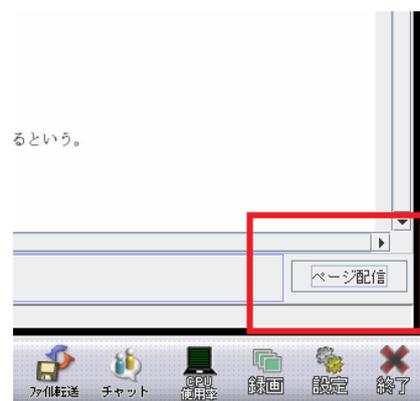
## 21. ページ配信機能を使う

先生は全体講義時や個別指導時に共有している（表示中の）ホワイトボードのページの内容をコピーして生徒に配布することができます。

ページ配信を行うには、ホワイトボードの右下にある「ページ配信」ボタンをクリックします。

コピー後のタブの名前を指定するダイアログが表示されたら、タブ名を記入し「配信」ボタンをクリックすると、現在指導対象の生徒のホワイトボードにコピーされます。

取り込んだ問題に先生が回答のヒントやポイントなどを書き込んだ後、そのページをそのままコピーして生徒に配布することができるので、自己学習で問題を解く前などに利用できます。



## 22. ホワイトボード上にマウスの位置を表示させる（ポインタ機能）

先生はホワイトボード上に自分のマウスの位置を表示させることができます。



「ポインタ OFF」をクリックすると、「ポインタ ON」の表示に変わりホワイトボード上にペン型のマウスポインタのアイコンが表示されます。どの部分を説明しているか生徒に明示したいときに利用できます。

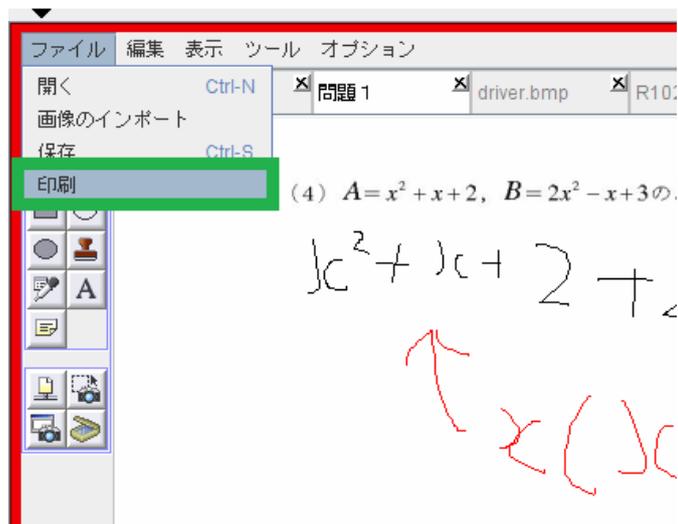
このマウスポインタのアイコンは指導対象の生徒全てに表示されます。個別指導を切り替えたり自己学習に変更するなど、指導対象生徒変更が生じたり、再度ボタンをクリックして明示的に OFF にすると、アイコンは消えます。

## 【確認テスト】

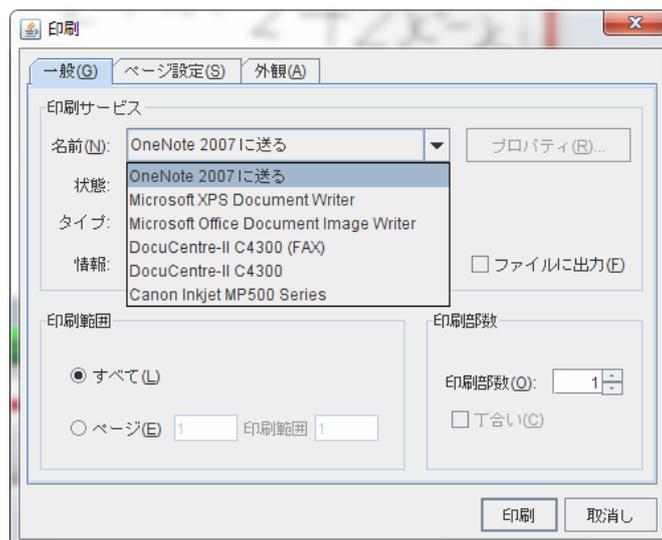
- (1) □にあてはまる用語を答えよ。  
単項式と多項式を合わせて□という。

### 23. 答案を印刷する

ホワイトボードに表示しているページを印刷することができます。



ページを印刷するには、ファイルメニューから「印刷」を選択します。



接続しているプリンタを選択し「印刷」ボタンをクリックします。

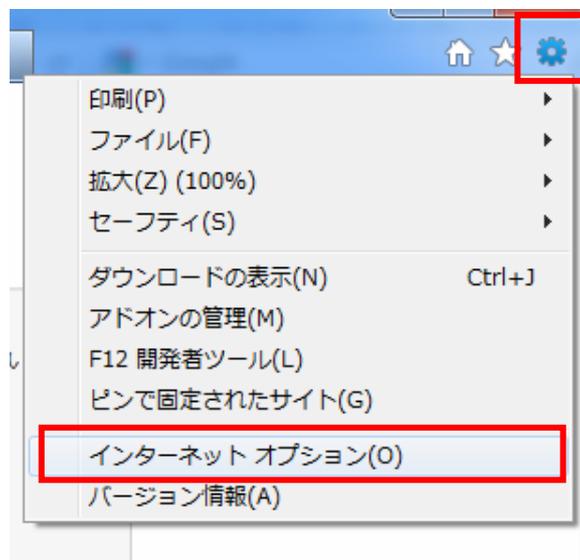
印刷はホワイトボードのページ単位で行われ、複数のページまとめてはできませんので、ページのタブを切り替えて、それぞれ印刷を行ってください。

## 24. よくあるご質問

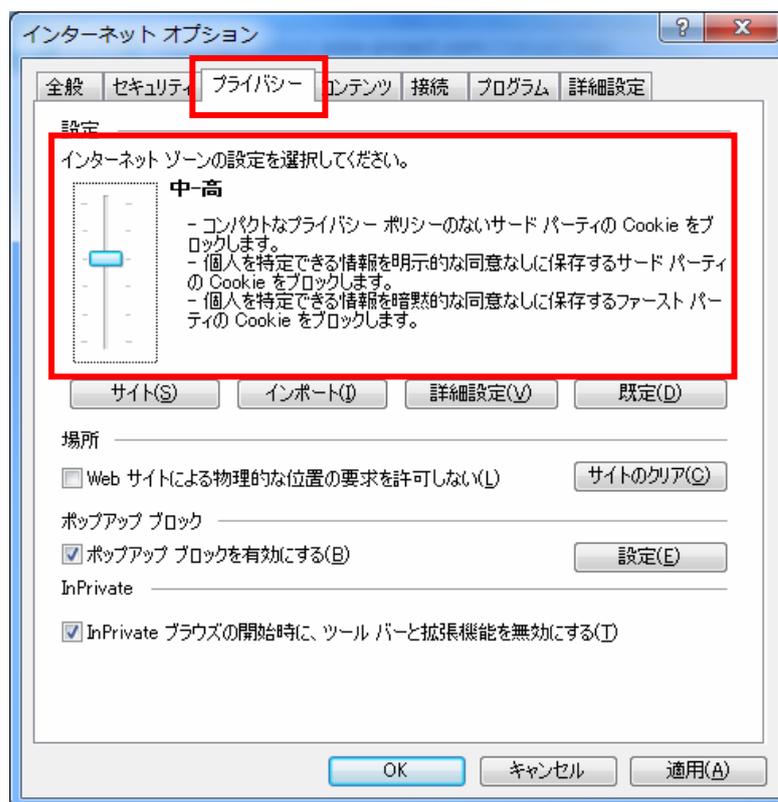
お問い合わせの前に、こちらを一度ご確認ください。

### ① エラーが表示されないがログインができない

解決方法：インターネットエクスプローラーの設定を見直します。



インターネットエクスプローラーの「設定」から「インターネットオプション」を表示します。

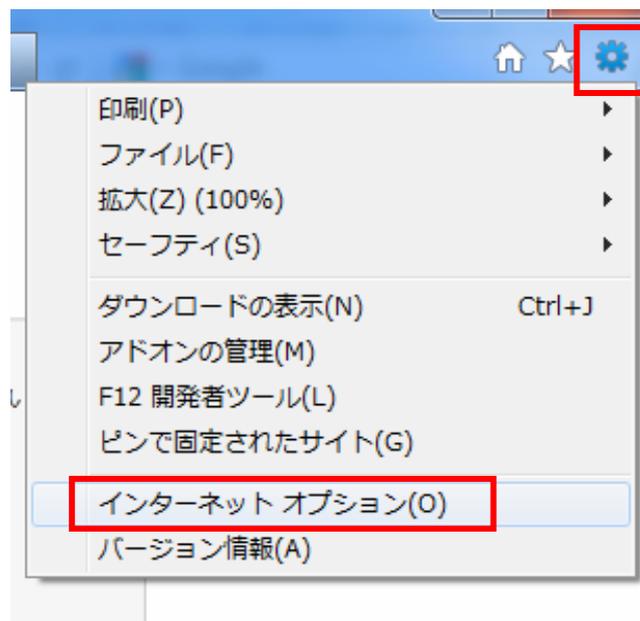


「プライバシー」タブを表示します。

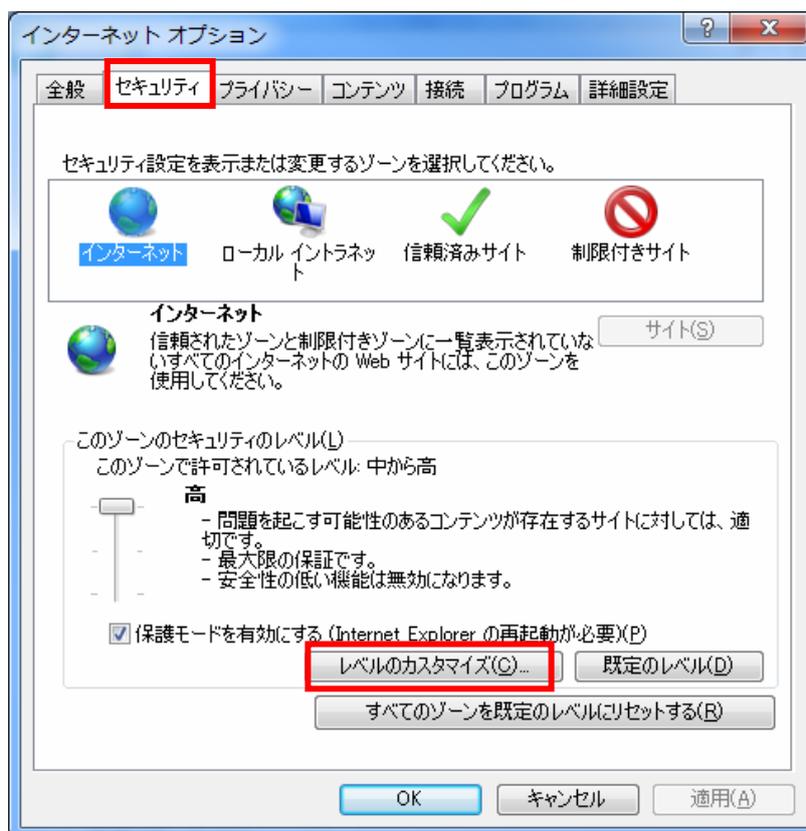
インターネットゾーンの設定を「中・高」もしくは「中」にしてください。

## ② 表示が乱れる。クリックしても反応がない。

解決方法：インターネットエクスプローラーの設定を見直します。

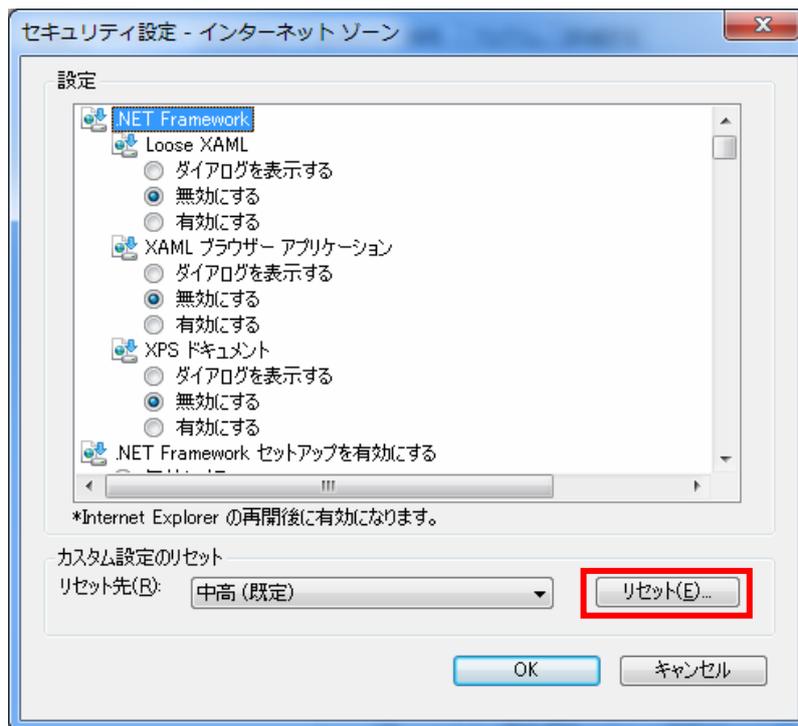


インターネットエクスプローラーの「設定」から「インターネットオプション」を表示します。



「セキュリティ」タブを表示します。

「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



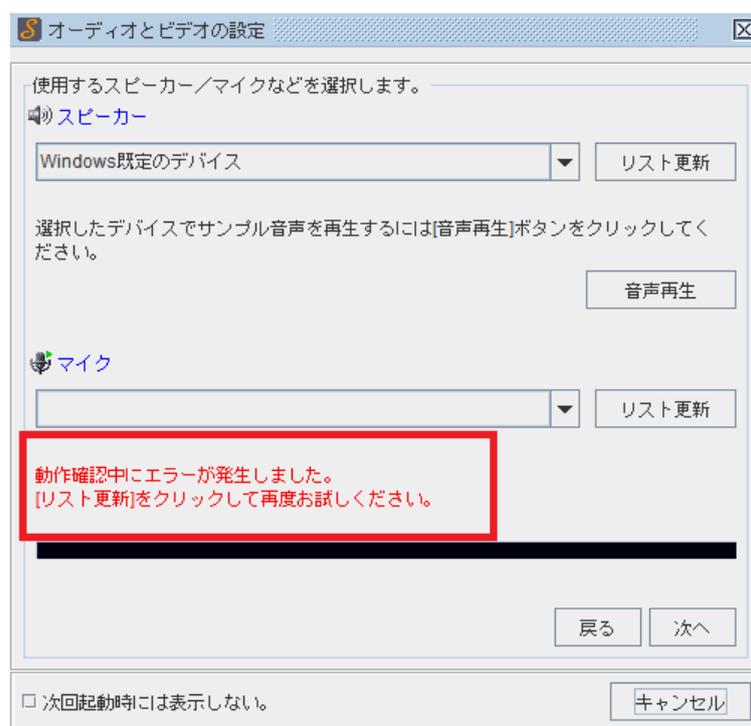
リセット先が「中-高」になっているのを確認して「リセット」ボタンをクリックします。



「はい」をクリックして閉じます。もう一度ログインしてお試してください。

### ③ オーディオとビデオの設定中にエラーが表示される。

マイクに「動作確認中にエラーが発生しました。[リスト更新] をクリックして再度お試しください。」と表示される。



解決方法：4 スキャナなどをUSBハブで接続する(P.7) および 0



スキャナ



ペンタブレット



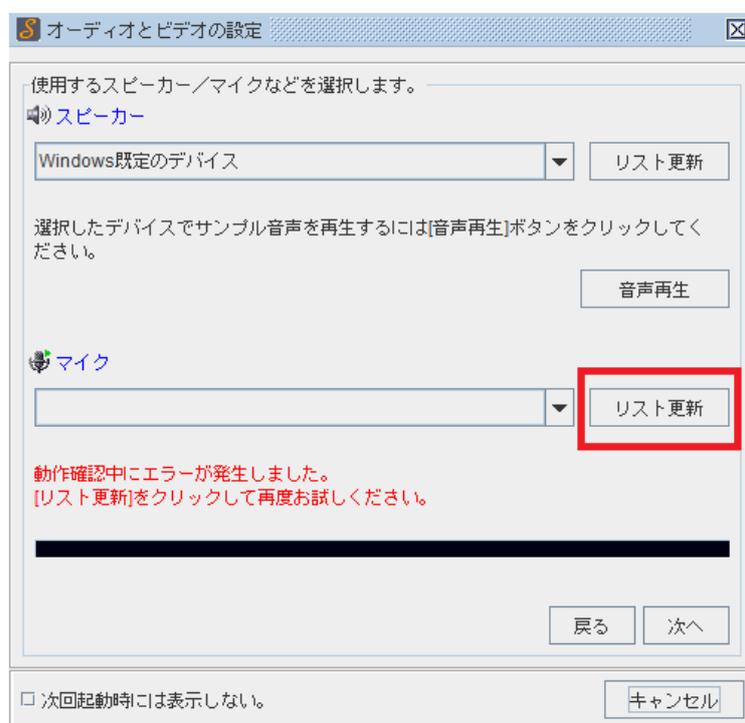
←USBハブは、左の画像のように、必ずACアダプタと呼ばれるコンセントから電源供給を受けるタイプを使用してください。

USBハブはACアダプタをコンセントに差した後に、USBケーブルの先をパソコン本体のUSBの入力に差し込みます。

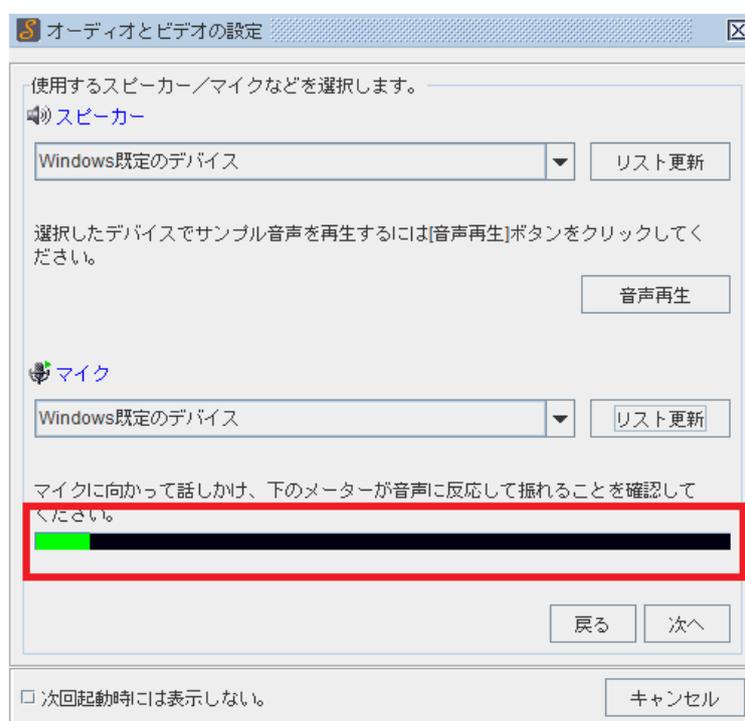
パソコンとACアダプタをコンセントに差した後、スキャナやペンタブレットなどをUSBハブに接続して利用します。

スキャナまたはプリンタを使用するには、最初に付属のCDからドライバと呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

ドライバのインストール方法や接続方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。  
マイク・ヘッドフォンを(P.7)を参考に、マイクとヘッドフォンを取り付けてください。

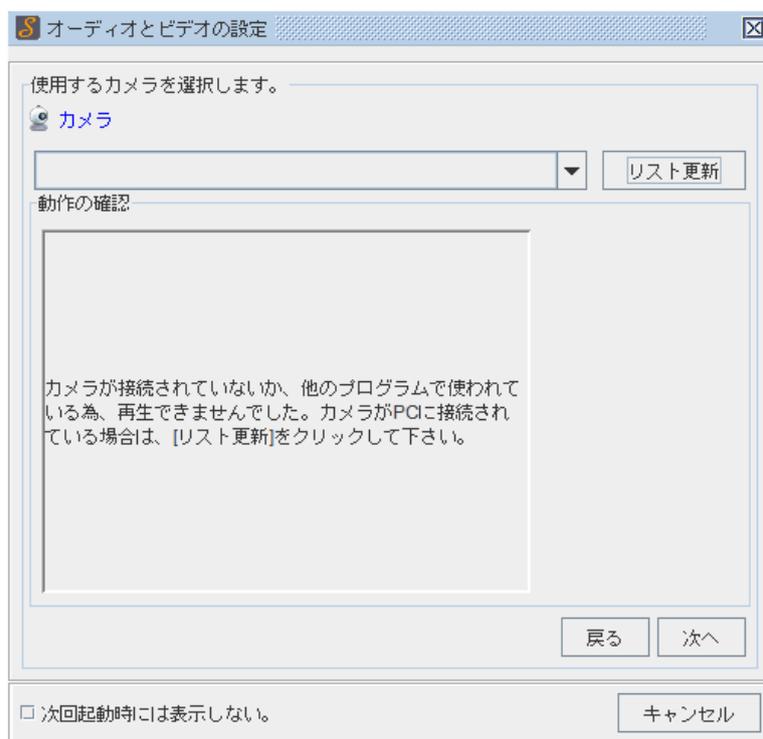


取り付けた後に「リスト更新」ボタンをクリックします。

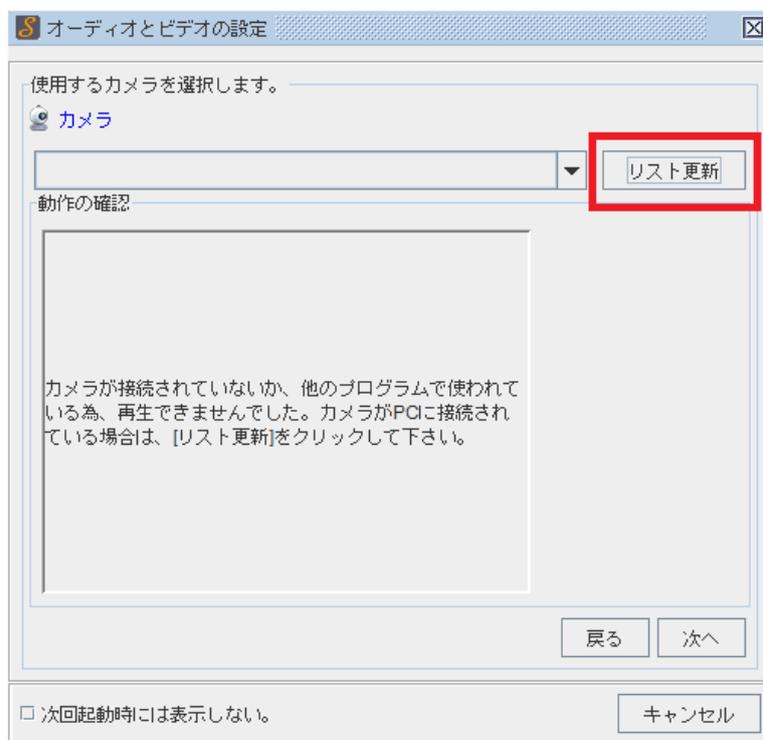


リストからマイクを選んで、ゲージが反応しているのか確認します。  
設定が完了したら、一度授業から脱退します。その後、もう一度授業に参加してください。

オーディオとビデオの設定で「カメラが接続されていないか、他のプログラムで使われている為、再生できませんでした。カメラがPCに接続されている場合は [リスト更新] をクリックしてください。」と表示されてカメラ映像が映りません。



解決方法：3 [カメラを接続する\(P.6\)](#)を参考にカメラを取り付けてください。



取り付けた後に「リスト更新」ボタンをクリックします。



リストからカメラを選んで、カメラの映像が表示されているのかを確認します。  
設定が完了したら、一度授業から脱退します。その後、もう一度授業に参加してください。

#### ④ 生徒のカメラとマイクがエラー状態になっている。



解決方法：生徒さんにはこちらの音声は聞こえているはずですので、一度授業を脱退した後にカメラとマイクを取り付けてから、授業に再度参加するように指示してください。

## 25. SOBA schoolシステム要件

	動作環境	推奨環境
対応 OS	Windows XP SP3／Windows Vista SP1 以降 / Windows7	
CPU	Pentium41.4GHz 以上	Core2Duo プロセッサ相当
メモリ	512MB	Windows XP の場合、1GB 以上 Windows Vista/7 の場合、2GB 以上
ハードディスク容量	120MB 以上	
ネットワーク環境	ADSL 以上	光回線
対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1 以降、Mozilla Firefox 3.6 以降	
周辺機器	USB (Web) カメラ、または DV カメラ、ヘッドセットまたはスピーカとマイク (ノイズキャンセラー付またはエコーキャンセラー付を推奨) ペンタブレットは Wacom 社の Bamboo Pen を推奨	